

1号機タービン建屋内における非放射性の水漏れについて

当所1号機は平成17年8月12日から点検停止中ですが、同日午前10時27分、タービン建屋補機冷却水系*¹の冷却水タンクの水位低下を示す警報が発生しました。現場を確認したところ、午前10時45分、タービン建屋地下1階の主油タンク*²室内にある油冷却器*³の冷却水配管に取り付けられたフロークラス*⁴付近から非放射性の水（純水）が漏れていることを確認しました。

ただちに、当該油冷却器を隔離したことにより、水漏れは停止しました。

調査の結果、当該フロークラスの取り付け部のパッキン*⁵が破損していることが確認されました。

このため、破損したパッキンを新品に交換します。また、当該パッキンの交換頻度が定められていなかったことから、今後、交換頻度について定めることといたします。

なお、漏れた水の量は約3.4立方メートルで、回収・清掃しました。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

* 1 タービン建屋補機冷却水系

タービン建屋内にあるポンプ軸受や熱交換器などの冷却用の水（純水）を循環させる系統。

* 2 主油タンク

主タービンの軸受等の潤滑のための油を供給するタンク。

* 3 油冷却器

主油タンクの油を冷却する装置。

* 4 フロークラス

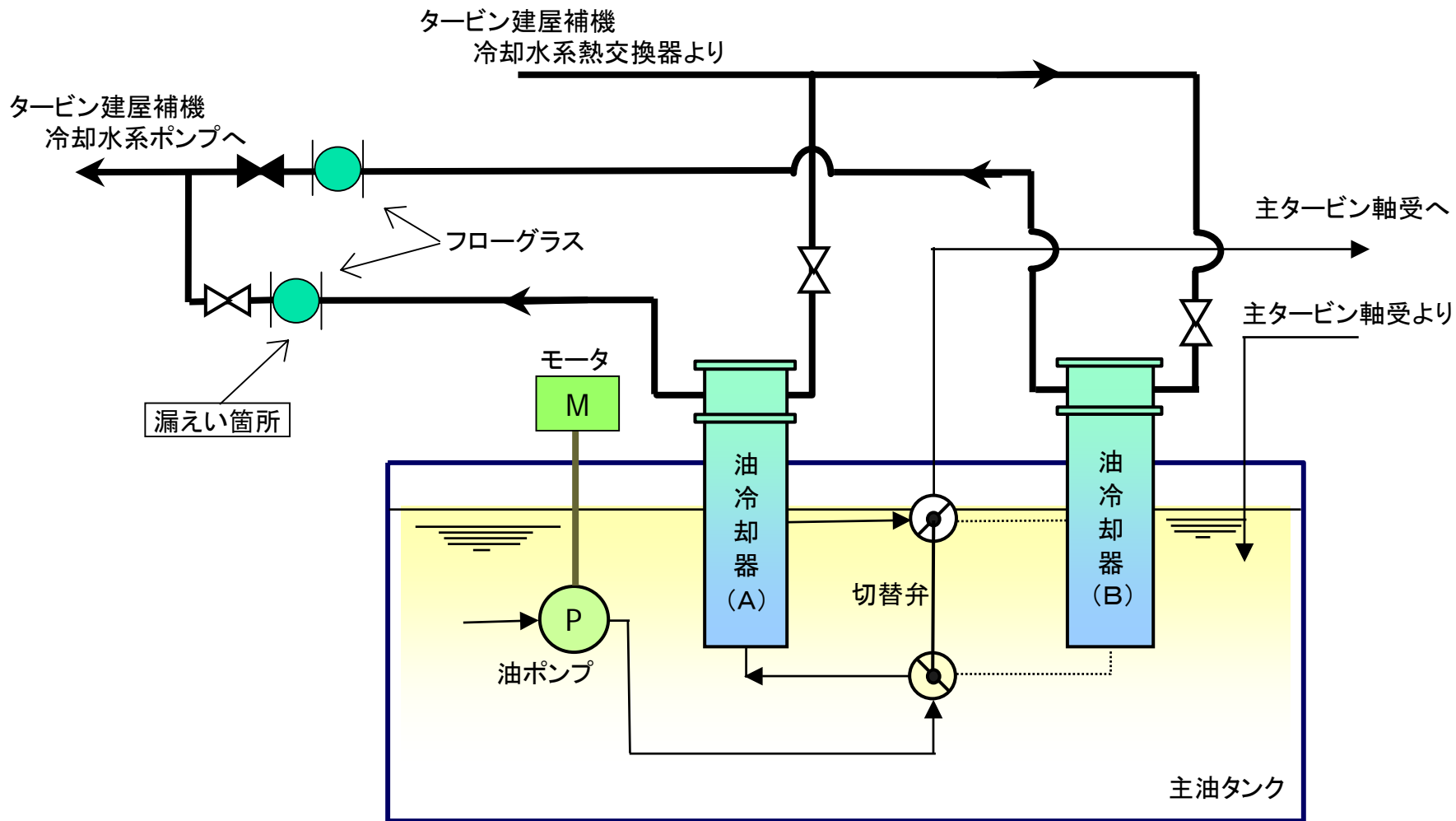
配管内の流体の流れを確認するための窓。

* 5 パッキン

・材質：ゴム

・大きさ：外径約26 cm、内径約23 cm、厚さ約5 mm

これは「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」（平成15年11月10日お知らせ済み）における区分Ⅲの事象として、休前日に発生した不適合事象を公表しているものです。



タービン建屋補機冷却水系系統概略図